DRUG

INFORMATION

2002 No. 34

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成14年12月6日発行

目 次

1. 医薬品の採用・採用中止について 1
—平成 14 年 12 月 5 日の薬事委員会結果—
2. 院内処方医薬品について 3

※ Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アクトネル錠(リセドロン酸ナトリウム水和物)	2.5mg/錠	骨粗鬆症治療剤	アベンティスファーマ
アーチスト錠(カルベジロール)	10mg/錠	β遮断剤	第一
セロクエル錠(フマル酸ケチアピン)	100mg/錠	抗精神病剤	藤沢
タケロン OD 錠(ランソプラゾール)	15mg/錠	プロトンポンプ阻害剤	武田
タミフルドライシロップ(リン酸オセルタミビル)	30mg/g	抗インフルエンザウイルス剤	中外
バルトレックス錠(塩酸バラシクロビル)	500mg/錠	抗ウイルス化学療法剤	グラクソ・スミスクライン
アズノールうがい液(アズレンスルホン酸ナトリウム)	5mL/本	アズレン含嗽液	日本新薬
デュロテップパッチ(フェンタニル)	5mg/枚	持続性癌疼痛治療剤	協和醗酵
ヴィーン 3G 注	500mL/瓶	血液代用剤	日研化学
注射用オノアクト(塩酸ランジオロール)	50mg/V	β遮断剤	小野
オフサグリーン静注用(インドシアニングリーン)	25mg/V	蛍光眼底造影剤	参天
ディブリバン注(プロポフォール)	200mg/20mL/A	全身麻酔・鎮静剤	アストラゼネカ
パシル点滴静注液(メシル酸パズフロキサシン)	500mg/錠	ニューキノロン系抗菌剤	富山化学
プロハンスシリンジ(ガトテリドール)	3.63g/13mL/筒	非イオン性 MRI 用造影剤	エーザイ
リュープリン SR 注射用キット(酢酸リュープロレリン)	11.25mg/キット	前立腺癌治療剤	武田

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アダラート CR 錠(ニフェジピン)	20mg/錠	持続性カルシウム拮抗剤	バイエル
エボザックカプセル(塩酸セビメリン水和物)	30mg/Cp	口腔乾燥症状改善剤	第一
シングレアチュアブル錠(モンテルカストナトリウム)	5mg/錠	気管支喘息治療剤	萬有
パキシル錠(パロキセチン)	10mg/錠	選択的セロトニン再取り込み阻害剤	グラクソ・スミスクライン
マルファ液(水酸化アルミニウムゲル, 水酸化マグネシウム)	配合剤	消化性潰瘍・胃炎治療剤	小野
ヘパリン Na ロック 10 シリンジ(ヘパリンナトリウム)	[10 単位/mL] 5mL/筒	ヘパリンロック液	三菱ウェルファーマ
ヘパリン Na ロック 100 シリンジ(ヘパリンナトリウム)	[100 単位/mL] 10mL/筒	ヘパリンロック液	三菱ウェルファーマ

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アダブチノール錠(ヘレニエン)	5mg/錠	暗順応改善剤	バイエル
アーチスト錠(カルベジロール)	20mg/錠	β 遮断剤	第一
セレナール錠(オキサゾラム)	5mg/錠	抗不安剤	三共
アズノール ST 錠(アズレンスルホン酸ナトリウム)	5mg/錠	口腔内炎症治療剤	日本新薬
インターール点鼻液(クロモグリク酸ナトリウム)	9.5mL/本	アレルギー性鼻炎治療剤	藤沢
エストラダーム TTS(エストラジオール)	2mg/枚	経皮吸収エストラジオール製剤	キッセイ
紫雲膏		漢方製剤	ツムラ
スプレキュア点鼻液(酢酸ブセレリン)	10mL/本	子宮内膜症治療剤	持田
ファルネゾンゲル(ファルネシル酸ブレドニゾロン)	25g/本	経皮吸収型ステロイド剤	大鵬
ムコゾーム点眼液(塩化リゾチーム)	5mL/本	消炎酵素点眼剤	参天
イオメロン 400(イオメプロール)	20mL/V	非イオン性造影剤	エーザイ
プロテアミン 12X 注射液	200mL/袋	総合アミノ酸製剤	田辺
ペチロルファン注射液(塩酸ペチジン, 酒石酸レバロルファン)	1mL/A	非アルカロイド系麻薬	武田
レギチーン注射液(メシル酸フェントラミン)	10mg/1mL/A	褐色細胞腫用 α 遮断剤	ノバルティスファーマ

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ネオマイゾン G 注(塩酸アミノ酢酸チアンフェニコール)	1g/V	クロラムフェニコール系抗生物質製剤	エーザイ

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院外処方医薬品(追加分)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アシビル内服ゼリー(アシクロビル)	800mg/3g/包	抗ウイルス化学療法剤	日研化学
アロマシン錠(エキセメスタン)	25mg/錠	閉経後乳癌治療剤	ファルマシア
カリメートドライシロップ(ポリスチレンスルホン酸カルシウム)	5.4g/包	血清カリウム抑制剤	日研化学
クラリチン錠(ロラタジン)	10mg/錠	アレルギー性疾患治療剤	塩野義
ジゴシン錠(ジゴキシン)	0.125mg/錠	ジギタリス製剤	中外
リスパダール内用液(リスペリドン)	1mg/mL	抗精神病剤	ヤンセンファーマ
ワーファリン錠(ワルファリンカリウム)	5mg/錠	経口抗凝固剤	エーザイ
アズノールうがい液(アズレンスルホン酸ナトリウム)	5mL/本	アズレン含嗽液	日本新薬
キューバル 100 エアゾール(プロピオン酸ベクロメタゾン)	8.7g/瓶	吸入ステロイド喘息治療剤	大日本
ベトプティック S 懸濁性点眼液(塩酸ベタキソロール)	5mL/本	緑内障・高眼圧症治療剤	アルコン
ボンアルファハイ軟膏(タカルシトール)	10g/本	尋常性乾癬治療剤	帝人
ヤクバン 40(フルルビプロフェン)	10×14cm/枚	経皮吸収型鎮痛消炎剤	三菱ウェルファーマ

院内処方医薬品について

*リセドロン酸ナトリウム水和物

Sodium Risedronate Hydrate

【商】アクトネル Actonel

アベンティスファーマ

内用：錠剤(劇) 1錠中 2.5mg

【禁】食道狭窄又はアカラシア（食道弛緩不能症）等の食道通過を遅延させる障害のある患者、本剤の成分あるいは他のビスフォスフォネート系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、低カルシウム血症の患者、服用時に立位あるいは坐位を 30 分以上保てない患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、高度な腎障害のある患者

【効】骨粗鬆症

【用】1 日 1 回 2.5mg を、起床時に十分量（約 180mL）の水とともに投与する。服用後少なくとも 30 分は横にならず、水以外の飲食並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。

【副】食道穿孔、食道潰瘍、食道炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、上腹部痛、嘔気、腹部膨満感、便秘、消化不良、胃炎、口内炎、軟便、食欲不振、悪心、嘔吐、おくび、口渇、下痢、癢痒症、皮膚炎、紅斑、ALT・ γ -GTP・AST・Al-P 増加、LDH 増加、眼痛、好中球数減少、リンパ球数増加、白血球数減少、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット減少、めまい、頭痛、感覚減退、耳鳴、関節痛、血中 Ca 減少、尿中 β_2 ミクログロブリン増加、尿潜血陽性、

【妊】不可

【授】回避、やむを得ない場合は授乳中止

【小】未確立

*カルベジロール Carvedilol

【商】アーチスト Artist 第一

内用：錠剤 1錠中 10mg

【警】慢性心不全患者に使用する場合には、慢性心不全治療の経験が十分にある医師のもとで使用すること。

【禁】気管支喘息・気管支痙攣のおそれのある患者、糖尿病性ケトアシドーシス・代謝性アシドーシスのある患者、高度の徐脈（著しい洞性徐脈）・房室ブロック（Ⅱ、Ⅲ度）・洞房ブロ

ックのある患者、心原性ショックの患者、強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者、非代償性の心不全患者、肺高血圧による右心不全のある患者、未治療の褐色細胞腫の患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】○本態性高血圧症（軽症～中等症）

○腎実質性高血圧症 ○狭心症 ○次の状態で ACE 阻害薬・利尿薬・ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者：虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全

【用】○本態性高血圧症（軽症～中等症）・腎実質性高血圧症：1 回 10～20mg を 1 日 1 回投与する。○狭心症：1 回 20mg を 1 日 1 回投与する。○虚血性心疾患または拡張型心筋症に基づく慢性心不全：1 回 1.25mg、1 日 2 回食後投与から開始する。1 回 1.25mg、1 日 2 回の用量に忍容性がある場合には、1 週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量する。用量の増減は必ず段階的に行い、1 回投与量は 1.25mg、2.5mg、5mg または 10mg のいずれかとし、いずれの用量においても、1 日 2 回食後投与とする。維持量として 1 回 2.5～10mg を 1 日 2 回食後投与する。年齢、症状により、開始用量はさらに低用量としてもよい。

【副】高度な徐脈、完全房室ブロック、心不全、心停止、肝機能障害、黄疸、アナフィラキシー様症状、発疹、癢痒感、徐脈、低血圧、動悸、頻脈、心房細動、期外収縮、脚ブロック、血圧上昇、心胸比増大、顔面潮紅、四肢冷感、房室ブロック、狭心症、喘息様症状、咳嗽、呼吸困難、息切れ、鼻閉、めまい、眠気、頭痛、失神、不眠、抑うつ、注意力低下、異常感覚、悪心、胃部不快感、嘔吐、便秘、下痢、食欲不振、腹痛、血糖値上昇、尿酸上昇、CK 上昇、総コレステロール上昇、低血糖、尿糖、Al-P・LDH 上昇、トリグリセライド上昇、K 上昇、糖尿病悪化、K 低下、Na 低下、AST・ALT 上昇、BUN・クレアチニン上昇、尿失禁、頻尿、蛋白尿、貧血、白血球減少、血小板減少、霧視、涙液分泌減少、浮腫、脱力感、倦怠感、勃起不全、耳鳴、疲労

感、胸痛、疼痛、発汗、口渇

【妊】未確立、不可 【授】授乳回避

【小】未確立

*フマル酸クエチアピン Quetiapine Fumarate

【商】セロクエル Seroquel 藤沢

内用：錠剤(劇) 1錠中 100mg

【警】1. 著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡等の重大な副作用が発現し、死亡に至る場合があるので、本剤投与中は、血糖値の測定等の観察を十分に行うこと。2. 投与にあたっては、あらかじめ上記副作用が発現する可能性があることを、患者及びその家族に十分に説明し、口渇、多飲、多尿、頻尿等の異常に注意し、このような症状があらわれた場合には、直ちに投与を中断し、医師の診察を受けるよう、指導すること。

【禁】昏睡状態の患者、バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者、エピネフリンを投与中の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、糖尿病の患者、糖尿病の既往歴のある患者

【効】精神分裂病

【用】1回 25mg、1日 2~3回より投与を開始し、患者の状態に応じて徐々に増量する。1日投与量は 150~600mg とし、2~3回に分割投与する。1日 750mg を超えないこと。

【副】高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、悪性症候群、遅発性ジスキネジア、不眠、不安、神経過敏、傾眠、頭痛、めまい、幻覚の顕在化、痙攣、健忘、攻撃的反応、昏迷、神経症、妄想の顕在化、リビドー亢進、感情不安定、激越、錯乱、思考異常、自殺企図、人格障害、躁病反応、多幸症、舞踏病様アテトーシス、片頭痛、悪夢、うつ病、独語、衝動行為、自動症、アカシジア、振戦、構音障害、筋強剛、流涎、ブラジキネジア、歩行異常、ジスキネジア、嚥下障害、ジストニア、眼球回転発作、顆粒球減少、頻脈、起立性低血圧、心悸亢進、低血圧、高血圧、徐脈、不整脈、失神、心電図異常、AST・ALT・LDH 上昇、Al-P・ γ -GTP 上昇、ビリルビン血症、去痰困難、鼻炎、便秘、食欲不振、食欲亢進、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、イレウス、消化不良、瞳孔反射障害、高プロラクチン血症、T4 減少、高血糖、月経異常、甲状腺

疾患、高コレステロール血症、高脂血症、発疹、排尿障害、排尿困難、尿失禁、尿閉、BUN 上昇、倦怠感、無力症、CK 上昇、口内乾燥、多汗、発熱、体重増加・減少、胸痛、筋痛、高 K 血症、舌麻痺、知覚減退、背部痛、肥満症、浮腫、ほてり、歯痛

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳中止

【小】未確立

*ランソプラゾール Lansoprazole

【商】タケプロン OD Takepron OD 武田

内用：錠剤(口腔内崩壊錠) 1錠中 15mg

【禁】本剤の成分に対する過敏症の既往歴のある患者

【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群、胃潰瘍又は十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助

【用】○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群：1日 1回 30mg を投与する。胃潰瘍、吻合部潰瘍では 8 週間まで、十二指腸潰瘍では 6 週間までの投与とする。○逆流性食道炎：1日 1回 30mg を投与する。8 週間までの投与とする。再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、1日 1回 15mg を投与するが、効果不十分の場合は、1日 1回 30mg を投与することができる。○胃潰瘍又は十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：ランソプラゾールとして 1回 30mg、アモキシシリンとして 1回 750mg、クラリスロマイシンとして 1回 200mg の 3 剤を同時に 1日 2回、7 日間投与する。クラリスロマイシンは 1回 400mg、1日 2回を上限とする。

【副】アナフィラキシー反応、ショック、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、顆粒球減少、血小板減少、貧血、重篤な肝機能障害、Lyell 症候群、Stevens-Johnson 症候群、偽膜性大腸炎、間質性肺炎、発疹、痒疹、AST・ALT・Al-P・LDH・ γ -GTP 上昇、好酸球増多、便秘、下痢、口渇、腹部膨満感、悪心、嘔吐、食欲不振、腹痛、カンジダ症、口内炎、舌炎、味覚異常、頭痛、眠気、うつ状態、不眠、めまい、振戦、発熱、総コレステロール・尿酸上昇、女性化乳房、かすみ目、浮腫、脱力感、倦怠感、舌・口唇のしびれ感、四肢しびれ感、関節痛、筋肉痛、脱毛

【妊】有益のみ
【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避
【小】未確立

*リン酸オセルタミビル Oseltamivir Phosphate

【商】タミフル Tamiflu 中外

内用：ドライシロップ剤 1g 中 30mg

【警】1. 本剤を治療に用いる場合には，本剤が A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症以外のウイルス感染症や細菌感染症に効果がないことを踏まえ，本剤の必要性を慎重に検討すること。2. 本剤の予防効能での使用は推奨されていない。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症

【用】成人には 1 回 75mg を 1 日 2 回，5 日間，用時懸濁して投与する。幼小児には 1 回 2mg/kg を 1 日 2 回，5 日間，用時懸濁して投与する。1 回最高用量は 75mg とする。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，肝炎，肝機能障害，黄疸，Stevens-Johnson 症候群，Lyell 症候群，腹痛，下痢，嘔気，嘔吐，腹部膨満，便異常，口内炎，口内不快感，食欲不振，頭痛，傾眠，不眠症，めまい，幻覚，興奮，振戦，しびれ，AST・ALT・ γ -GTP・Al-P 上昇，蛋白尿陽性，血尿，好酸球増加，白血球減少，血小板減少，気管支炎，咳嗽，血中ブドウ糖増加，背部痛，胸痛，疲労，発疹

【妊】未確立，有益のみ 【授】授乳回避

【未・新・乳】1 歳未満：未確立

【貯】25℃以下

*塩酸バラシクロビル

Valaciclovir Hydrochloride

【商】バルトレックス Valtrex

グラクソ・スミスクライン

内用：錠剤 1 錠中 500mg

【禁】本剤の成分あるいはアシクロビルに対し過敏症の既往歴のある患者

【効】単純疱疹，帯状疱疹

【用】○単純疱疹：1 回 500mg を 1 日 2 回投与する。○帯状疱疹：1 回 1,000mg を 1 日 3 回投与する。

【副】アナフィラキシーショック，アナフィラキシー様症状，汎血球減少，無顆粒球症，血小板減少，DIC，血小板減少性紫斑病，急性腎不全，意識障害，譫妄，妄想，幻覚，錯乱，痙攣，てんかん発作，麻痺，Stevens-Johnson 症候群，Lyell 症候群，呼吸抑制，無呼吸，間質性肺炎，肝炎，肝機能障害，黄疸，急性膵炎，発疹，蕁麻疹，掻痒，光線過敏症，肝機能検査値異常，肝炎，下痢，腹痛，嘔気，嘔吐，腹部不快感，頭痛，意識低下，めまい，腎障害

【妊】有益のみ 【授】慎重

【未・新・乳・幼・小】未確立

*アズレンスルホン酸ナトリウム

Azulene Sulfonate Sodium

【商】アズノールうがい液 Azunol 日本新薬

外用：液剤 4% (5mL)

【効】咽頭炎，扁桃炎，口内炎，急性歯肉炎，舌炎，口腔創傷

【用】1 回 4~6mg (1 回押し切り分，又は 5~7 滴) を，適量 (約 100mL) の水又は微温湯に溶解し，1 日数回含嗽する。

【副】口中のはれ，口腔・咽頭刺激感

【貯】遮光

*フェンタニル Fentanyl

【商】デュロテップ Durotep 協和醗酵

外用：貼付剤(麻)(劇) 1 枚中 5mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症のある患者

【効】激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】本剤はモルヒネ製剤から切り替えて使用する。胸部，腹部，上腕部，大腿部等に貼付し，3 日毎 (約 72 時間) に貼り替えて使用する。

【副】薬物依存，退薬症候 (減量・中止による)，呼吸抑制，血圧上昇，頻脈，徐脈，血圧低下，眠気，不穏，不眠，傾眠，健忘，めまい，いらいら感，幻覚，多幸症，頭痛，錯乱，便秘，嘔気，嘔吐，下痢，口渇，尿閉，貼付部位の掻痒感，発疹，掻痒，貼付部位の紅斑，紅斑，発熱，倦怠感，発汗

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

【商】ヴェーン 3G Veen-3G 日研化学

注射：液剤 1 瓶 500mL

【禁】高 K 血症・乏尿・アジソン病・重症熱傷・高窒素血症の患者，高 P 血症・低 Ca 血症・副甲状腺機能低下症の患者，高 Mg 血症・甲状腺機能低下症の患者

【効】経口摂取が不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持，エネルギーの補給

【用】成人には 1 回 500～1,000mL を，小児には 1 回 200～500mL を点滴静注する。投与速度は，成人・小児ともにブドウ糖として 0.5g/kg/時以下とする。

【副】脳浮腫，肺水腫，末梢の浮腫，水中毒，高 K 血症

*塩酸ランジオロール Landiolol Hydrochloride

【商】オノアクト Onoact 小野

注射：(劇) 1 瓶中 50mg

【禁】心原性ショックの患者，糖尿病性ケトアシドーシス・代謝性アシドーシスのある患者，房室ブロック（Ⅱ度以上）・洞不全症候群など徐脈性不整脈患者，肺高血圧症による右心不全のある患者，うっ血性心不全のある患者，未治療の褐色細胞腫の患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】手術時の下記の高頻性不整脈に対する緊急処置：心房細動，心房粗動，洞性頻脈

【用】1 分間 0.125mg/kg/分の速度で静脈内持続投与した後，0.04mg/kg/分の速度で静脈内持続投与する。投与中は心拍数，血圧を測定し 0.01～0.04mg/kg/分の用量で適宜調節する。

【副】ショック，血圧低下，徐脈，ST 低下，肺動脈圧上昇，喘息，低酸素血症，AST・ALT・総ビリルビン上昇，白血球増多，LDH 上昇

【妊】未確立，有益のみ

【未・新・乳・幼・小】未確立

*インドシアニングリーン Indocyanine Green

【商】オフサグリーン Ophthagreen 参天

注射：1 瓶中 25mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，ヨード過敏症の既往歴のある患者

【効】網脈絡膜血管の造影

【用】25mg を注射用蒸留水 2mL に溶解し，肘静脈より速やかに注射する。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，悪心，嘔吐，嘔気，蕁麻疹，発熱

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

*プロポフォール Propofol

【商】ディプリバン Diprivan アストラゼネカ
注射：液剤(劇) 1 管(20mL)中 200mg

【禁】本剤又は本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，妊産婦，小児（集中治療における人工呼吸中の鎮静）

【効】全身麻酔の導入及び維持，集中治療における人工呼吸中の鎮静

【用】○全身麻酔の導入及び維持：〔導入〕本剤を 0.5mg/kg/10 秒の速度で，患者の全身状態を観察しながら，就眠が得られるまで静注する。ASAⅢ及びⅣの患者には，より緩徐に投与する。本剤 2.0～2.5mg/kg で就眠が得られる。高齢者においては，より少量で就眠が得られる場合がある。〔維持〕酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し，本剤を静注する。適切な麻酔深度が得られるよう全身状態を観察しながら，投与速度を調節する。本剤 4～10mg/kg/時の投与速度で適切な麻酔深度が得られる。鎮痛剤（麻薬性鎮痛剤，局所麻酔剤等）を併用すること。局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。○集中治療における人工呼吸中の鎮静：本剤を 0.3mg/kg/時の投与速度で，持続静注を開始し，適切な鎮静深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら，投与速度を調節する。通常，0.3～3.0mg/kg/時の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。必要に応じて鎮痛剤を併用すること。

【副】低血圧，アナフィラキシー様症状，気管支痙攣，舌根沈下，一過性無呼吸，てんかん様体動，重篤な徐脈，不全収縮，心室頻拍，心室性期外収縮，左脚ブロック，肺水腫，覚醒遅延，横紋筋融解症，悪性高熱類似症状，徐脈，ST 低下，頭痛，振戦，吃逆，咳嗽，悪心，口腔内分泌物増加，嘔吐，腭炎，発赤，紅斑，AST・ALT・Al-P・LDH・γ-GTP・ビリルビン上昇，腎機能障害，変色尿，多幸症，性欲抑制不能，譫妄，白血球増加，低蛋白血症，低アルブミン血症，注射時疼痛，注射部位の静脈炎・血栓症・しびれ感，術後発熱，戦慄

【妊】不可

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立〔集中治療における人工呼吸中の鎮静〕不可

【貯】25℃以下

*メシル酸パズフロキサシン

Pazufloxacin Mesilate

【商】パシル Pasil 富山化学

注射：液剤 1袋(100mL)中 500mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，小児

【効】熱傷創感染，手術創感染，慢性呼吸器疾患の二次感染（慢性気管支炎，びまん性汎細気管支炎，気管支拡張症，肺気腫，肺線維症，気管支喘息，陳旧性肺結核等），肺炎，肺化膿症，腎盂腎炎，複雑性膀胱炎，前立腺炎，胆嚢炎，胆管炎，肝膿瘍，腹腔内膿瘍，腹膜炎，内性器感染症（子宮付属器炎，子宮旁結合織炎），骨盤腹膜炎

【用】1日 1,000mg を2回に分けて点滴静注する。年齢，症状に応じ，1日 600mg を2回に分けて点滴静注するなど，減量すること。点滴静注に際しては，30分～1時間かけて投与すること。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，Lyell 症候群，Stevens-Johnson 症候群，急性腎不全，肝機能障害，黄疸，偽膜性大腸炎，無顆粒球症，血小板減少，間質性肺炎，PIE 症候群，横紋筋融解症，低血糖，アキレス腱炎，腱断裂，痙攣，発疹，発熱，蕁麻疹，痒痒感，顔面潮紅，BUN 上昇，蛋白尿，ウロビリニン尿，円柱尿，尿潜血，クレアチニン上昇，ALT 上昇，AST・ALP・ γ -GTP・LAP・LDH・総ビリルビン上昇，好酸球増多，白血球減少，血小板減少，貧血，下痢・軟便，嘔気・嘔吐，心窩部不快感，腹部膨満，黒色便，下血，頭痛・頭重，めまい，一過性意識障害，一過性精神障害，ふらつき，譫妄，CK 上昇，電解質異常，口腔内乾燥感，舌炎，血管痛

【妊】未確立，不可 【授】授乳中止

【小】未確立

*ガドテリドール Gadoteridol

【商】プロハンス Prohance エーザイ

注射：液剤 1筒(13mL)中 3.63g

【警】本剤を脳・脊髄腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので，脳・脊髄腔内には投与しないこと。

【禁】本剤投与により重篤な副作用がみられた患者，一般状態の極度に悪い患者，気管支喘息のある患者，重篤な腎障害のある患者，初回投与時に副作用がみられ追加投与を行う必要がある患者

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における下記造影：脳・脊髄造影，躯幹部・四肢造影

【用】本剤 0.2mL/kg を静注する。腎臓を対象とする場合には 0.1mL/kg を静注する。転移性脳腫瘍が疑われる患者において 0.2mL/kg 初回投与後，腫瘍が検出されないか，又は検出されても造影効果が不十分であった場合には，初回投与後 30分以内に 0.2mL/kg を追加投与することができる。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，痙攣発作，発疹，蕁麻疹，潮紅，ほてり，痒痒感，血圧低下，嘔声，咳嗽，くしゃみ，咽喉頭症状，鼻炎，喘息，嘔気・嘔吐，口渇，腹痛，眩暈，頭痛，しびれ，振戦，白血球増多，血小板増加，肝機能異常，ALT 上昇，AST 上昇，疼痛，血管痛，熱感，味覚異常，血清鉄低下，血清 K 上昇，冷感，気分不良，胸痛，多汗，BUN・クレアチニン上昇

【妊】未確立，有益のみ

【未・新・乳・幼・小】未確立

*酢酸リュープロレリン Leuprorelin Acetate

【商】リュープリン SR Leuplin SR 武田

注射：(劇) 1筒中 11.25mg

【禁】本剤の成分又は合成 LH-RH・LH-RH 誘導体に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】前立腺癌

【用】12週に1回 11.25mg を皮下注する。投与に際しては，注射針を上にしてプランジャーロッドを押して，懸濁用液全量を粉末部に移動させて，泡立てないように注意しながら，十分に懸濁して用いる。

【副】間質性肺炎，アナフィラキシー様症状，肝機能障害，黄疸，糖尿病の発症又は増悪，うつ状態，骨疼痛の一過性増悪，尿路閉塞，脊髄圧迫，LDH 上昇，黄疸，AST・ALT・ γ -GTP・ALP 上昇，ほてり，熱感，頭痛，顔面潮紅，め

まい，発汗，性欲減退，勃起障害，女性化乳房，
睾丸萎縮，会陰部不快感，関節痛，骨疼痛，
肩・腰・四肢等の疼痛，歩行困難，筋肉痛，骨
塩量の低下，皮膚炎，頭部発毛，頻尿，血尿，
BUN 上昇，心電図異常，心胸比増大，貧血，血
小板減少，悪心，嘔吐，食欲不振，下痢，発疹，
掻痒，投与部位の疼痛・硬結・発赤・膿瘍，浮
腫，胸部圧迫感，悪寒，倦怠感，口唇・四肢の
しびれ，体重増加，知覚異常，難聴，耳鳴，発
熱，総コレステロール上昇，トリグリセライド
上昇，尿酸上昇，高 K 血症，血糖値上昇，脱力
感